



学習発表会で培われた「自主・協力・創造」の心

10月、子どもたちは、学習発表会で保護者の皆様や観客の皆様に自分たちの表現を見ていただくために、一生懸命練習に励んできました。

5年生は、「宮沢賢治作品ならではのストーリー展開のおもしろさとメッセージを伝えよう」というテーマをもって、名作「注文の多い料理店」の音楽劇での表現に挑戦しました。練習では、自分の台詞をどのように言ったらよいか、小道具はどうするか、なるべく子どもたち自身にも考えさせるようにしてきました。そのため、「練習は本番のように 本番は練習のように」ということを自ら意識して練習に励むことができました。校長先生からの応援メッセージ「完全燃焼」についても、みんなでその意味を共有して、よりよいゴールを目指して努力しました。心をつにしていってつくり上げていくよさや楽しさを実感しながら、自分の殻を打ち破って表現活動に挑戦する姿に、成長を感じています。このような体験を通して、「自主(進んで)」「協力(心をつにしてい)」「創造(よりよいものに工夫する)」の大切さに気付いてくれることを期待しています。

今回は、学習発表会の運営を支える準備や係活動にも携わりました。高学年として、自分の役割と責任を果たす姿や練習の成果を認め、称賛していただけますと幸いです。保護者の皆様からの温かい言葉かけが、今後の学習や生活への意欲に結び付きます。



実りの秋・・・稲刈りに挑戦！

10月3日（金）、稲刈りに挑戦しました。春に植えた稲の苗は、暑い夏を経て大きく育ち、金色の稲穂が田を埋め尽くしていました。子どもたちは、佐藤栄祐さんにご指導いただきながら、稲刈りを体験しました。栄祐さんの指示やアドバイスをよく聞いて作業に挑戦するものの、刈った稲を上手に束ねるのに悪戦苦闘していました。しかし、稲の刈り方や藁を使って刈った稲を束ねたりする方法など、昔ながらの稲刈りの手順を体験しながら学んだことで、日本の食を支えてきた「米」を大切にしようという思いが高まったようです。刈り取った稲は、今、「稲架掛け（はさがけ）」という方法で、天日と自然風によって乾燥させています。十分に乾燥させた後、稲を脱穀するようになります。



いよいよ明日 校外学習です！

明日、南相馬方面へ校外学習に行きます。持ち物の準備のご確認をお願いいたします。

<服装>

- 運動着上下（半袖・長袖・長ズボン）
- 寒いときには上着を持参する。
- 紅白帽
- 履き慣れた靴

<持ち物>リュックサックに入れて持参する。

- ☐ しおり ☐ 探検バッグ ☐ 筆記用具
- ☐ お弁当 ☐ 水筒（水かお茶）
- ☐ 敷物 ☐ ハンカチ ☐ ティッシュ
- ☐ おしぼり ☐ ビニール袋
- ☐ ゴミを入れる袋 ☐ 雨具
- ☐ 酔い止めの薬（バスに酔いそうな人：帰りの分）

